

著者へのお願い (投稿前に再度ご確認くださいこと)

2021年7月20日
砂防学会誌編集委員会

近年、投稿規程や投稿要領の様式に従っていないために、また、文章の推敲が不十分と考えられるために、投稿から掲載までに時間を要するケースあるいは残念ながら掲載に至らないケースが増えています。また、査読プロセスは査読者の無償の善意と努力によるものですが、これらのケースでは査読者の時間的・労力的負担が大きくなっておりま

す。つきましては、査読を円滑に進め、投稿からの時間を短縮して掲載に至るよう、著者の皆様には投稿前に下記の点について十分にご検討いただきたく、ご協力をお願いする次第です。また、上の状況を踏まえ、査読者の負担を軽減するとともに、掲載までに要する時間を縮減するために、査読プロセスの前に原稿の体裁等の修正を編集委員会から依頼することがあります。投稿前にあらかじめご承知おき下さいますようお願いいたします。

【投稿前にご検討いただきたい事項】

- ・原稿の体裁：砂防学会誌投稿要領および執筆要領に準拠していること
- ・文章の推敲：論旨の展開が明瞭であること、記述が簡潔明瞭であること
- ・図表の質：情報の過不足がないこと、文字が読めること

【カバーレター作成の試行・お願い】

重点のおかれる項目（新規性、普遍性など）が不明瞭なため、著者と査読者の意見がかみ合わず、査読が複数回に及び長期化する事例、掲載に至らない事例が散見されています。そこで、砂防学会誌編集委員会では、皆様の貴重な研究成果のポイントが正確に編集委員、査読者に伝わるように、原稿の重要なポイントをカバーレターに示して（アピールして）いただくことを試行したいと思います。

カバーレターの内容については、編集委員会および査読者のみが確認します。また、カバーレターは公表することはありませんので、カバーレターに示した内容は適宜、本文中にも記述して下さい。

1. カバーレターに示していただく項目

- (1) 論文：新規性、普遍性の2項目
- (2) 報文：有効性、信頼性の2項目
- (3) 総説：有効性
- (4) 研究ノート：新規性
- (5) 技術ノート：有効性

2. 各項目の書き方のポイント

【新規性】

- ・論文、研究ノートで示す知見が従来の研究に比べて、どのように新規的なのか示して下さい。当該分野における近年の代表的な論文を挙げた上で、本研究と代表的な既往論文を対比するなど、新規性を具体的に示して下さい。

【普遍性】

- ・論文で示す知見が「得られた結論等が、時や場所を越えて適用可能である」と判断されたか、根拠を具体的に書いて下さい。

【有効性】

- ・報文、総説、技術ノートで示すどのデータまたは内容が、どのように「砂防学の発展に役立つ」のか具体的に示して下さい。近年の代表的な報文、技術報告、総説、基準類等を挙げるなど、具体的に解決すべき課題を明確にして下さい。

【信頼性】

- ・報文で示す結論が信頼するにたる根拠（参考文献も含まれます）を具体的に書いて下さい。

3. 様式・分量

投稿票における10.カバーレターの記入欄に、項目ごとに5～10行で示して下さい。